

日本のデフレ脱却から 「新成長」と「強靱性」の時代への転換

日本のデフレ脱却から「新成長」と「強靱性」の時代への転換。
日本は投資と生産性の向上を原動力とする「成長・投資主導型
経済」への歴史的な転換点にあります。

社会課題への適応と未来

地政学的なレジリエンス

「自由で開かれた
インド太平洋」の主導
G7、Quad、同盟を通じた
地域の安定と繁栄

3つの成長の柱と戦略的投資

優先分野への官民投資
(3,300億ドル目標)
AI・半導体値に660億ドルの
公的支援を呼び水に

優先分野への
官民投資
(3,300億ドル目標)
AI・半導体値に660億ドルの
公約支援を呼び水に

17の戦略的
技術分野の特定
経済成長と安全保障の
両立に集中投資

2026年度税制改正
による検押し
国内指資やR&Dを
促進する新規制導入

重要鉱物・希少金属
の供給網強化
豪米と連携、探査から
精製までの資制化

経済と安全保障の
統合
サイバー、海底ケーブル、
通信インフラの防衛化

人口減少をAI・
ロボティクスで克服
労働力不足、世界に先
駆けた「AI突進社会」

「ウーマノミクス」の加速
女性首相・女性財策大臣誕生、
多様な模様の活用

選択的な移民政策と
開かれた社会への努力
高度人材を歓迎、
国際標準のビザ制度へ

経済のモメンタム

名目GDP
4兆ドル突破と
過去最高の
設備投資

デフレ時代

2年連続 5%超の賃金上昇
賃金増進を打詰、
消費者の信頼回復

公債依存度の低下 (24%)
支出拡大と税収増加のバランス、
G7でも低水準

投資・経済指標の概観

項目	指標・目標値
名目GDP	4兆USD超
日経平均株価	2012年比 約5倍
公債依存度	24% (前年比低下)
AI・半導体 投資目標	3,500億USD
公的支援額	660億USD